

平成20年4月23日

各位

会社名 大和ハウス工業株式会社
 (コード番号 1925 東証・大証第一部)
 代表者名 代表取締役社長 村上 健治
 問合せ先 取締役常務執行役員 武田 英一
 電話番号 (06)6342 - 1402

退職給付数理差異償却損及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、現在集計中の平成20年3月期決算(平成19年4月1日～平成20年3月31日)において、退職給付数理差異償却損を営業外費用として計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、平成20年2月8日に公表した平成20年3月期の業績予想を、下記のとおり修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期末の退職給付数理差異償却損の総額

(連結)

(A) 平成20年3月期末の退職給付数理差異償却損の総額	26,410百万円
(B) 平成19年3月期の純資産の額 (A/B×100)	661,145百万円 (4.0%)
(C) 平成19年3月期の経常利益額 (A/C×100)	89,356百万円 (29.6%)
(D) 平成19年3月期の当期純利益額 (A/D×100)	46,393百万円 (56.9%)

(個別)

(A) 平成20年3月期末の退職給付数理差異償却損の総額	20,346百万円
(B) 平成19年3月期の純資産の額 (A/B×100)	593,208百万円 (3.4%)
(C) 平成19年3月期の経常利益額 (A/C×100)	65,636百万円 (31.0%)
(D) 平成19年3月期の当期純利益額 (A/D×100)	38,292百万円 (53.1%)

(注) 当社グループは、退職給付会計における数理計算上の差異について、発生年度に一括処理を行っています。

当期は運用環境の悪化により、年金資産の運用が当初に見込んだ計画を大幅に下回ったため、その不足分を数理計算上の差異として営業外費用に計上いたします。

2. 業績予想の修正

(1) 平成20年3月期連結業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,700,000	88,000	88,000	35,000
今回修正予想 (B)	1,709,000	89,000	61,000	13,000
増減額 (B-A)	9,000	1,000	△27,000	△22,000
増減率 (%)	0.5	1.1	△30.7	△62.9
(ご参考) 前期(平成19年3月期)実績	1,618,450	85,678	89,356	46,393

(2) 平成20年3月期個別業績予想の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,152,000	60,700	65,200	21,600
今回修正予想 (B)	1,157,600	63,200	49,900	7,400
増減額 (B-A)	5,600	2,500	△15,300	△14,200
増減率 (%)	0.5	4.1	△23.5	△65.7
(ご参考) 前期 (平成19年3月期) 実績	1,185,664	60,993	65,636	38,292

(3) 修正の理由

上記1に加え、「投資有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落した上場株式について、減損処理による投資有価証券評価損を連結で78億円、個別で78億円、特別損失として計上することになりましたので、平成20年2月8日の業績予想修正時の計画を下回る見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上